

社協だより

かしわざき

柏崎地区社会福祉協議会

発 行 者

柏崎地区社会福祉協議会

会 長 田 中 泰 之

さいたま市岩槻区真福寺365

事務局長 星 野 一 夫

広報担当 森 田 幸 雄

TEL・FAX 048-797-2911



あけまして
おめでとうございます



柏崎地区社会福祉協議会会長

田 中 泰 之

令和 4 年の新春を迎え新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくおねがいいたします。

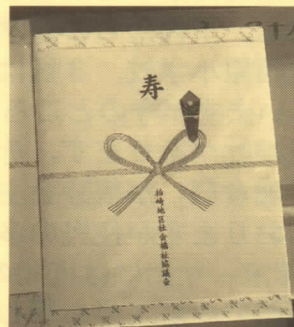
昨年は、1 月から 10 月までの長期に渡り、非常事態宣言等が発令され私たちの、生活環境や行動が大幅に制限された 1 年でした。10 月以降はワクチン接種の効果か、感染者数が大幅に減少し、各種制限が緩和され、第六波の襲来を恐れながら、皆様それぞれの新しい生活スタイルで新年を迎えたものと思います。

このような状況下で、令和 3 年度予定していた当柏崎地区社会福祉協議会の事業の内、9 月の敬老会は、槻寿苑の受け入れ人数制限と、柏崎地区の対象高齢者世帯数の増加もあり開催を中止し戸別記念品配布に変更し実施しました。又 12 月末の正月用品等の配布は、例年通り実施しました。令和 4 年 3 月で、第 2 次地域福祉行動計画が終了し、4 月より第 3 次地域福祉行動計画がスタートする予定です。現在「誰もが安心、安全に暮らせ、人にやさしくふれあいのあるまち」づくりを基本理念に基づき、高齢者の方々だけでなく、子育て世代の方々も、気楽に参加し行動できる新 5 ヶ年計画立案中で 3 月中には皆さんに発表したく思います。本年も皆様のあたたかいご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後に令和 4 年が新型コロナウイルス感染を克服し皆様が笑顔で 1 年を終われるようご祈念し、新年の挨拶と致します。

敬老記念品を贈呈しました

新型コロナ緊急事態制限が発令された令和 3 年度は“柏崎地区敬老会”を開催できませんでした。このため昨年度同様記念品を贈呈しお祝いさせて頂きました。今年の 75 歳以上の該当者の方は 1401 名で、担当地区の民生委員の協力でお配りしました。



中嶋民生委員から田中会長へ記念品贈呈

自治会紹介特集 (福祉協議会役員名簿順)**◎柏崎自治会** 会長 星野 一夫

地域内の住民相互の親睦を図り、共同福祉を増進することを目的とし、ふれあいサロン、ごみゼロ運動、夏まつり、防犯パトロール、防災訓練等の活動を通して、子供から高齢者まで、安心安全に暮らせる地域を目指しています。地区体育振興会、地区社会福祉協議会と合同で、歩け歩け大会、ビーチボール大会、運動会、グラウンドゴルフ大会、敬老会、等にも参加しています。

- ・会長から一言 地域内に在住の子供から高齢者の皆さんと一緒に「きずな」や「つながり」「支え合い」の気持ちを深め、安全で安心して暮らせる地域にしていきたいと思えます。

◎柏崎原自治会 会長 田中 泰之

国道16号線沿いの岩槻郵便局の南側（二トリ）の南側周辺に位置します。住所が原町のため、通常「原町」と呼んでいます。自治会の特色は町内の絆を大事にし、各種イベントを通し、子どもから高齢者まで安心安全に楽しく暮らせる地域を目指しています。活動としては毎月のように活発な取り組みを行っています。（1月餅つき大会、3月花見会、4月歩け歩け（体育振興会）、5月ビーチボール（体育振興会）、7月夏祭り、8月ラジオ体操、9月敬老会（社協）、防災訓練その他月2回のグラウンドゴルフ等etc）、原町には“原町友愛会”というお年寄りのちょっとした困りごとに手をかしたり、相談を聞いたりし、見守り、支え合いの活動をするグループがあり大変喜ばれています。（コロナ感染予防にPTAの皆さんの協力を得て小学生たちとマスクを作りお年寄りに配布しました）。2年間夏祭りも中止となったので「祭り運営委員会」発案で、コロナ退散の願いを込めて、幼児から中学生までに“お絵描き”や“千羽づる”を折ってもらい「吊るしづる」を作ったり、旧暦の七夕の日に「コロナ終息」を願い子供さんから高齢者の方々に「願い事短冊」を作ってもらい柳の木に飾ったりしました。このようにその時に合わせて活動をしています。

- ・会長から一言 地域在住の子供さんから高齢者の皆さんと一緒に「きずな」や「つながり」そして「支え合い」の気持ちを深め、安全で安心して生活できる地域にしていきたいともいます。

◎加倉1区自治会 会長 佐藤 憲克**◎加倉2区自治会** 会長 阿津沢 清**◎加倉3区自治会** 会長 酒井 勝人

加倉1区、2区、3区自治会は3つに分かれていますがいつでも共同体でお互いに助け合い活動しております。加倉地区は東北自動車道のインターチェンジがあり、16号国道や122号線と道路の大動脈が東西南北に走っています。昼でも夜でも車が往来して生活するには環境はあまりよくありません。子供たちの通学路にしても充分気を付けて歩行しなければいけません。1区と2区は西原小学校、3区は柏崎小学校に通っています。一部区域で他の学校へ通っている子供もいますが今のところ大きな事故がなく助かっています。

加倉地区には古い久伊豆神社があります。それぞれの地区から役員を出して神社を守っています。夏には盛大に「加倉祭」が親睦会主催により行われます。2年間はコロナウイルス感染拡大の為に中止しておりますが住民の多勢の人々が楽しみにしております。その他正月には「もちつき大会」年末・年始には夜間の防犯パトロールも全地区で行っています。昨年は3地区の連自治会館の改修工事も行われフローリングの使いやすい会場がオープンいたしました。今後もダンスや各クラブでの催し物が開催されるでしょう。交流の場と

して自由に使用できます。この管理も 1 区、2 区、3 区の役員さんが交代持ち廻りで行っています。(文責 阿津沢 清)

◎谷下自治会 会長 加藤 操

インターチェンジより南へ西側は綾瀬川、東側は東北自動車道に挟まれた地域です。柏崎地区内では最小世帯数で(現在32世帯)昔からあまり変わりません。自治会の自慢は昭和53年に市指定有形文化財に指定された“円空仏3軀”を所有していることです。現在は県立博物館に寄託されています。

自治会の特色は絆を大切に、各種行事を通し自治会の皆様方が安全安心に楽しく暮らせる地域を目指しています。社協行事には積極的に参加する事はもちろん地域においては年2回用排水路の清掃、除草を行ったり、神社境内の除草清掃や行事にも熱心に取り組んでいます。毎年7月には「谷下二十日会」主催の谷下夏まつりで地区のふれあいを深めています。

- 会長から一言 主な自治会活動の他、年間を通じて神社の行事にも熱心に取り組んでいます。地域在住の子供さんから高齢者の皆様方と一緒に、つながりそして支え合いの気持ちを持ち大切に、安全安心の生活を探求していく地域にしたいと思います。

◎浮谷上自治会 会長 清水 武

◎浮谷下自治会 会長 吉田 英夫

柏崎地区の南方面で和土地区との境まで広がります。平成6年(1994)に目白大学岩槻キャンパスが開設されてから廻りの住宅事情もだいぶ変わりました。主な両自治会の活動としては共通する部分が多いです。たとえば美化運動は毎月1回(第1日曜日)に自治会館、公園、神社の清掃、草むしり等を行っています。防災活動は上地区は隔月(第1日曜日)、下地区は隔月(第3日曜日)に防災倉庫の点検等を行っています。サロン活動も主にグランドゴルフですが上下合同で行っています。

また、目白大学では10月に“目白大学桐葉祭”が行われ(去年はコロナの関係で中止)上地区下地区とも地元で採れた新鮮野菜を直売し喜ばれています。

しかし、柏崎地区運動会やグランドゴルフ等では各地区名入りゼッケンを着けお互いの成績を競っています。

- 会長から一言
- 浮谷上自治会長 地域社会皆さんと一緒にきずなを深め、安全で安心な地域にして、浮谷に住んで良かったと思える地域にしていきたいと思います。
- 浮谷下自治会長 地域全体のふれあいを大事にしていきたいです。そのためにも自治会員の増加をめざしてがんばります。

◎横根上自治会 会長 本田 彰

◎横根下自治会 会長 田口 公夫

地理的には谷下地区をそのまま南に延長した地域で介護老人ホーム(まきば園)のあたりで東北縦貫道路の東側を含んで広がり、老人福祉センター「槻寿苑」あたりまでが範囲となります。自治会は横根上自治会と、横根下自治会に分かれています。民生委員は両地区を一人が担当しています。このためサロン活動は「ミニサロン」と称し年2回合同で開催しています。7月には昔から「宮なぎ」と呼ばれている神社周辺の草刈り、清掃を擦る年行事があります。社協行事には両地区とも積極的に参加しています。

- 会長から一言
- 横根上自治会長 懐かしい昔の文化を残し、現代社会にも対応する柔軟性のある自治会をめざし、穏やかに住民との繋がりが保たれる地域を構築していきましょう。

- **横根下自治会長** 各種のイベントを通して会員相互の親睦を図り、82世帯の皆さんとお互い支え合って地域のきずなを深めましょう。

◎浮谷市営住宅自治会 会長 小川 宏美

浮谷地区の北側に位置します。当初、専任の民生委員はいなく浮谷上地区の民生委員が担当区域として活動していましたが、住宅が増設され世帯数も大幅に増えたため。民生委員の増員が不可欠と岩槻第4民生委員児童委員協議会（柏崎地区、和土地区の民生委員で構成）から区へ増員の申請を行い、やっと認められた経緯があります。

自治会の活動は不定期ですがサロン活動を行い、お茶会や、ゲーム、体操などを行っています。毎年11月には消防訓練、防犯活動を団地内、駐車場、地区内を重点的に行っています。初期消火、避難訓練は特に重要と考えています。

また、社会福祉協議会が行う各種行事には積極的に参加しています。

- **会長より一言** 地域のつながりを大事にし、会員同士仲良く支えあいながら、共により良い地域をめざしましょう

◎真福寺自治会 会長 中村 正

当地区は、真福寺及び城南3丁目で形成され自然環境に恵まれ北側には国の重要文化財「真福寺貝塚」があり縄文後期から晩期の竪穴住居跡や土偶、耳飾り、勾玉等の土器の出土、貝塚が散在しテレビでも紹介され、貝塚公園として観光化に向けて整備が進む。中央部に祭神大己貴命（おこなむちのみこと）の久伊豆神社があり拝殿、庚申塔、灯籠、神楽殿があり、隣接して活動の拠点である公民館がある。地区運動会は交流の場、防犯は専門チームの他に全世帯が通年実施。防災にはこれまで東北被災地より被災体験者の講演や高度な防災訓練を実施し危機管理に努めている。通過車両の増加に伴い危険交差点での見守りや道路網の整備に向け・通学・通勤・生活道路としての利便を図れるようたゆまなく要望を行っている。高齢者対策としては有識者等の指導でサロンを通じて実施、青少年対策にはPTAとの協力により例大祭時に併せ効果的な活動を模索している。

今後も地域内のつながりを重要視し、ここに来て良かった、ここに住んで良かった、ここに来てもらってよかった。この3つの良かったが得られるコミュニティづくりを目指しています。

- **会長より一言** 現在約70%が新しく越されてきた方であり、各班長さんを中心に近隣の皆さんや地域の方が思いやりの心を持って接して頂き「住んで良かった。ここへ来てよかった。ここに来てもらってよかった」と言っていただけの環境にしていきたい。

新型コロナは終息していません。引き続きマスク、手洗い等を心掛け、十分に気を付けてください。また、年少者や2回接種者への3回目のワクチン接種が計画されています。

これらの情報には常に関心を向けてください。現在新型コロナウイルスの「オミクロン株」が日本でも確認され今後が心配です。どうぞご注意を！

社協事務所

開所日時 月曜日～金曜日（土日祝祭日休み、臨時休有り）
10時～12時・13時～16時

さいたま市岩槻区真福寺365

TEL・FAX 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美